

京都大会ニュース 第2号

京都で開催される全国高等学校PTA連合会大会では、6分科会を開催することにしております。
従来の全国大会では、「学校教育とPTA」・「進路指導とPTA」・「生徒指導とPTA」・「社会教育とPTA」の4つの分科会(他の都道府県市の学校の事例発表と協議)と開催地である主管が企画する2つの特別分科会、そして全国高等学校PTA連合会の研究発表が行われる分科会の合わせて7つの分科会が、開催されていました。(末尾に続く)



	第1分科会	第2分科会	第3分科会
テ ー マ	<p>＜よくできる＞とはどういうことか？ -大学は、自分の可能性を見つける場である</p>	<p>「子どもたちを育む環境づくり」</p>	<p>「すぐその未来のしごと」</p>
サブテーマ		<p>地域の現状と次世代を見据えて</p>	<p>ともに考える Society 5.0 において求められる人材像、学びの在り方</p>
会 場	<p>ロームシアター京都 メインホール及びサウスホール</p>	<p>みやこめっせ地階 日図デザイン博物館及び第1展示場A面</p>	<p>みやこめっせ1階 第2展示場A面・B面</p>
趣 旨	<p>日本の生徒は、諸外国の生徒に比べて、「自分は人並みの能力がある」という自尊心や自己肯定感を持つ割合が低く、自らの参加により社会をよりよく変えることができるという意識も低い傾向があります。これからの社会では、十分な知識・技能をもち、それを活用する思考力・判断力・表現力を臨機応変に発揮し、主体性をもって多様な人々と協力して学び、働く力、つまり「たのもしさ」を身につけることが求められています。永田和宏氏の著書の「知の体力」には、「答えは必ずある」などと思ってははいけません。「勉強」で染みついた呪縛を解くことが、「知の体力」に目覚める第一歩となる。」とあります。 生徒たちがこれからの社会を生きていくにあたり、一人一人が学び合い、自らの知識を深め、自尊心や自分の可能性を伸ばすためには、全国各地の高校で、家庭で、そして大学で何をどう学んでいくことが一番大切であるのかについて、永田氏の講演とその後のディスカッションを通じて、改めて考える機会になればと考えます。</p>	<p>子どもたちの支援には、学校・家庭・地域社会が目標を共有して連携・協働することが大切なこととされています。この分科会では、連携・協働を目指すために、これまでの子育てを振り返って、子どもとぶつかったり感謝したりしたことについて意見交換をするとともに、地域の中で子どもを育てる上で、子どもとどのように向き合えば良いかを話し合います。 意見交換しやすいグループ人数としたりアンケート用紙を活用することで、全国から御参加いただく多くのPTA会員の方々と、和気藹々と意見交流をしたいと思えます。</p>	<p>今、「超スマート社会」とも言われる Society 5.0 が訪れようとしています。人工知能(AI)、ビッグデータ、Internet of Things(IoT)、ロボティクス等の先端技術が高度化し、あらゆる産業や社会生活に取り入れられ、私たちの生活は劇的に便利で快適なものになっていくと言われていきます。一方で、このような人類がこれまで経験したことのない急激な変化を前に、漠然とした不安の声も多いのではないのでしょうか。人間としての強みはどこにあるか。学びや仕事にどのように向き合っていけばよいのでしょうか。必要なことは、どのような時代が訪れるのかを知り、今打てる手は何かを考えることではないのでしょうか。子どもの就きたい仕事について各家庭で話し合いができるよう、この分科会で未来の仕事を考えます。</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ◆基調講演 ◆パネルディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> ◆京・みやこカフェ <p>6人程度のグループで意見交換会を行います。グループの構成メンバーは、分科会途中でシャッフルし、参加者のみなさんが1人でも多くの方と交流できるようにします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆基調講演 ◆パネルディスカッション ◆参加者対象にクラウドサービスによるアンケートを実施(ディスカッションで活用)
講 師 等	<p>＜講師＞ 永田和宏 氏 (京都産業大学学長特命補佐、総合生命科学部教授、タンパク質動態研究所所長、京都大学名誉教授)</p> <p>＜パネリスト＞ 永田和宏 氏, PTA(保護者)2～3名, 校長1～2名</p> <p>＜コーディネーター＞ 未定</p>	<p>＜ファシリテーター＞ 京都府立高等学校PTA連合会口丹ブロック</p>	<p>＜講師・パネリスト＞ 片岡宏二 氏 (株式会社片岡製作所代表取締役社長) 加藤理啓 氏 (Classi株式会社代表取締役副社長)</p> <p>＜コーディネーター＞ 中山芳一 氏 (岡山大学全学教育・学生支援機構 准教授)</p>

	第4分科会	第5分科会	第6分科会
テ ー マ	「高校生の人間関係について考える」	未定	未定
サブテーマ	高校生の本音を聞いてみませんか？	未定	未定
会 場	みやこめっせ3階 第3展示場A面	みやこめっせ1階 第2展示場C面・D面	みやこめっせ3階 第3展示場B面
趣 旨	現代の高校生は、親や教師だけでなく友達にさえ本音を言わないといわれています。講師の原清治氏は、毎年、定期的に多くの高校で生徒と対話するアクティブな講演会を行い、ネット社会を生きる現代の高校生を「定点観測」されています。また、豊富な調査事例に基づき、ネットいじめを初めとする学校が抱える諸問題にも造詣が深い。そんな原先生に、さまざまなデータから見てくる「現代の高校生の人間関係」についての基調講演をしていただきます。 後半は、原先生をコーディネーターとして、前年度まで高校生であった若者5人ほどをパネリストに招き、「卒業したからこそ言える」「親にこんなことをしてほしかった」「先生にこんなことをしてほしかった」といった本音を聞き出します。現役の高校生の保護者が、現代の高校生の本音を知ることを通して、家庭での子どもとの関わりを考えます。	未定	未定
内 容	◆基調講演 ◆パネルディスカッション	L I N E株式会社	株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
講 師 等	<講師・コーディネーター> 原 清治 氏（佛教大学教育学部教授、佛教大学学生支援G P・戦略的大学連携G P推進室長） <パネリスト> 前年度高校生であった若者5名程度	未定	未定



京都大会からは、6つの分科会のうち4つの分科会を主管(京都)で企画することになりました。残りの2つの分科会は、全国高等学校PTA連合会が企画することになっております(京都大会では、LINE(株)と(株)リクルートマーケティングパートナーズが受け持つことになりました。)

「学校教育とPTA」・「進路指導とPTA」・「生徒指導とPTA」・「社会教育とPTA」の4つの分科会で、都道府県市が輪番で担当していた各単位PTAの事例発表は、今後、行われなくなりました。新たな分科会の取組が、京都大会からはじまることとなります。